

ライブラリートーク

電子書籍時代の小説家とそのビジネスモデル

日本では年間8万タイトルという膨大な数の書籍が刊行されています。例えば、小説家という職業を、そこで活動するたったひとりのベンチャービジネスと捉え、ビジネスモデルの視点から考えてみると、競争条件、収益モデル、生産財としての自己管理など、様々な面でプロスポーツ選手と類似性があることがわかります。来るべき電子書籍時代に、それほどどのように変わるのでしょうか。生産性と品質の向上など、執筆という作業を工学の視点から分析してみると、小説家にはどのような道具が必要になるのでしょうか…。今回のライブラリートークでは、小説家の阿川大樹氏に、コンピュータ利用の実例を示すとともに、「小説家業界」の裏側についてお話いただきます。

日時 2010年6月7日(月) 19:15~20:45

※ライブラリートーク終了後、30分程度のHello Timeを開催します。

場所 アカデミーヒルズ「スカイスタジオ」

六本木ヒルズ森タワー 49階

スピーカー 阿川 大樹 [小説家]

協力 日経ビジネス オンライン

プロフィール

1954年、東京都生まれ。東京大学在学中に、野田秀樹らと劇団「夢の遊眠社」を設立。日本電気(NEC)およびアスキーで半導体技術者を経て、シリコンバレーで半導体ベンチャー企業の設立に参加。1997年、著作に転じる。第16回サントリーミステリー大賞優秀作品賞、第2回ダイヤモンド経済小説大賞優秀賞などを受賞。現在、『第三企画室・出勤す』を日経ビジネスオンラインで連載中。

著書のご紹介



『フェイク・ゲーム』
徳間書店刊
(2009/05)

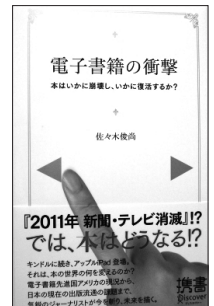


『D列車でいこう』
徳間書店刊
(2007/05)



『覇権の標的』
ダイヤモンド社刊
(2005/12)

推薦書籍のご紹介



『電子書籍の衝撃』
佐々木俊尚著
ディスカヴァー・トゥエンティワン刊
(2010/04)

オフィスメンバー説明会(無料)

ライブラリースタッフが、オフィスメンバー専用の施設やサービス内容についてご説明します。お気軽にご参加ください。

日程 2010年6月15日(火)、6月30日(水)

時間 19:30~20:00 **申込み** 事前申込み不要

※当日はメンバーズ受付に直接お越しください。



“知”のネットワークに参加しませんか?

アカデミーヒルズ最旬の話題をTwitterにて配信中。キーワードは

「アカデミーヒルズなう」。みなさまのフォロー、つぶやき、お待ちしております! <http://twitter.com/academyhills>